

# 公衆衛生学

[講義] 第3学年 後期 選択 2単位

【担当者名】○米田 龍大(デ) 志渡 晃一(非常勤講師)

## 【概要】

公衆衛生の原義は「すべての人の生命と生活を守る」ことである。この科目では、「生活の中で健康をどう考えたらよいか」について広範囲に探求する。

なお、「テーマ、授業内容および学修課題」に付記されている(2-1)等は、数理・データサイエンス・AI(応用基礎レベル)モデルカリキュラムの学修項目の番号である。また、学修内容にはモデルカリキュラムにより指定された構造的なスキルセットを記載している。

## 【学修目標】

本講義では、公衆衛生の視点を獲得し、視野を広めることを目的として、公衆衛生の目的・課題 公衆衛生の実践活動  
公衆衛生を支える科学・技術について理解を深める。また、公衆衛生におけるAIの活用等のデータ駆動型社会における公衆衛生の在り方に関する知識も獲得する。

## 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス 公衆衛生概論	講師の自己紹介 講義の進め方 世界の健康課題(平均寿命)	志渡 晃一 米田 龍大
2	公衆衛生概論	世界の健康課題 環境衛生活動 保健医療福祉による国際貢献(チェルノブイリ)	志渡 晃一 米田 龍大
3	公衆衛生概論	平和、公衆衛生と戦争(アウシュビッツ)	志渡 晃一 米田 龍大
4	公衆衛生概論	ユニセフ活動 疾病予防活動(きれいな水) SDGs	志渡 晃一 米田 龍大
5	予防医学	感染症	志渡 晃一 米田 龍大
6	予防医学	生活習慣病	志渡 晃一 米田 龍大
7	予防医学	ライフスタイルと健康 笑いの効用	志渡 晃一 米田 龍大
8	疫学	疫学概論 疫学データ観察の視点獲得(1-3)	志渡 晃一 米田 龍大
9	疫学 データ駆動型社会における健康科学 (データ分析、データ可視化(1-4、1-5))	記述疫学と分析疫学 機械学習等を用いた公衆衛生活動	志渡 晃一 米田 龍大
10	健康科学	精神保健	志渡 晃一 米田 龍大
11	健康科学	環境衛生	志渡 晃一 米田 龍大
12	社会医学	健康の社会的決定要因 AIを用いた健康の社会的決定要因の検討	志渡 晃一 米田 龍大
13	社会医学	健康の社会的決定要因	志渡 晃一 米田 龍大
14	社会医学	ソーシャルキャピタル	志渡 晃一 米田 龍大
15	総括	これまでの講義を基に、公衆衛生の視点について総括	志渡 晃一 米田 龍大

## 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

## 【評価方法】

聴講態度20%、筆記試験80%

## 【教科書】

教科書：シンプル衛生公衆衛生学 南江堂

## 【参考書】

参考書：国民衛生の動向 厚生統計協会

**【備考】**

講義で使用する教科書「シンプル衛生公衆衛生学（南江堂）」は、毎年最新版が出版されるため、受講年度に合わせ最新版を購入すること。

**【学修の準備】**

教科書、参考書に一通り目を通して、公衆衛生学の守備範囲を確認すること。その上で、知識の習得よりむしろ概念の理解に向けて予習し準備すること。受講後は自分なりに理解できるまで復習すること。また、北海道医療大学DX推進計画サイト（<https://dx.hoku-iryu-u.ac.jp/dx/edu>）には必要な教材なども公開されているので予習において活用すること（事前学修120分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

DP3 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP6 情報科学に関する知見を持ち、数理・データサイエンスの活用ができる。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。